

世田谷区民意識調査2023

(概要版)

(令和5年5月実施)

区民意識調査概要版は、令和5年5月に実施した「世田谷区民意識調査2023」を要約したもので、広く区民の方にその内容を知っていただくために作成しました。

今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、「区の基本構想」「区民交流スペース」「せたがやPay」などに関する項目を調査対象といたしました。

これらの調査結果については、区政を推進するための基礎資料として活用してまいります。

また、詳しく知りたい方は、世田谷区の区政情報センター、区政情報コーナー、区立図書館、区のホームページで「世田谷区民意識調査2023」をご覧ください。

調査の概要

対象者 世田谷区在住の満18歳以上の男女
対象数 4,000人
(内訳/日本国籍3,882人、外国籍118人)
抽出方法 層化二段無作為抽出法
調査方法 郵送配布・回収またはインターネットによる回答
調査期間 令和5年5月19日～6月9日
有効回収数 1,832人
(内訳/日本国籍1,797人、外国籍35人)
有効回収率 45.8%
(内訳/郵送回収1,160通・63.3%、
インターネット回収672通・36.7%)

回答者の属性

- 1 定住性
- 2 区政
- 3 区の基本構想
- 4 職員応対
- 5 福祉と医療
- 6 認知症
- 7 障害者を支える取り組み
- 8 子育て・子どもを取り巻く環境
- 9 地域コミュニティ
- 10 区民交流スペース
- 11 災害時の備え
- 12 男女共同参画の推進
- 13 平和資料館
- 14 多文化共生
- 15 文化活動
- 16 スポーツ
- 17 たばこマナー
- 18 せたがやPay
- 19 世田谷区公契約条例

令和5年9月



今回の調査項目は次のとおりです。このうち★印のある項目をこの概要版に掲載しています。

1 定住性

- (1) 居住年数
- ★ (2) 暮らしの満足度
- ★ (3) 住みやすさ
- ★ (4) 定住意向
- (5) 定住意向理由
- (6) 非定住意向理由
- ★ (7) 地域における日常生活での困りごと

2 区政

- ★ (1) 区が積極的に取り組むべき事業

3 区の基本構想

- ★ (1) 「世田谷区基本構想」九つのビジョンの達成状況

4 職員対応

- ★ (1) 窓口対応
- ★ (2) 印象が良かった点
- ★ (3) 印象が悪かった点
- ★ (4) 職員対応での注意点

5 福祉と医療

- ★ (1) 「福祉の相談窓口」の認知度
- (2) 介護や医療必要時の居留意向
- ★ (3) 「在宅医療」の認知度
- ★ (4) 「ACP」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度
- (5) 「うめとぴあ」の利用または関心のある事業

6 認知症

- ★ (1) 「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度
- (2) 認知症についての印象

7 障害者を支える取り組み

- ★ (1) 手話が独自の言語であることの認知度
- (2) 手話についての考え

8 子育て・子どもを取り巻く環境

- ★ (1) 区の子育て環境

9 地域コミュニティ

- ★ (1) 地域活動への参加経験・参加意向

10 区民交流スペース

- (1) 区民交流スペース開設時期の認知度
- ★ (2) 区民交流スペースに期待すること

11 災害時の備え

- (1) 防災への対処
- ★ (2) 在宅避難推奨の認知度
- (3) 水や食料の備蓄について
- (4) 非常用電力の備蓄について
- ★ (5) ハザードマップの認知度
- (6) ハザードマップの活用状況
- (7) Jアラート発信時の避難行動の認知度

12 男女共同参画の推進

- ★ (1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について
- (2) 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
- (3) 性的マイノリティという言葉の認知度
- (4) 性的マイノリティの人権を守る啓発や施策の必要性
- ★ (5) 「世田谷区パートナーシップの宣誓の取組み」の認知度

13 平和資料館

- ★ (1) 区立平和資料館の認知度

14 多文化共生

- ★ (1) 区が多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度
- (2) 外国人の地域活動への参加の進捗状況
- (3) 区内の外国人への誤解・偏見の解消状況

15 文化活動

- ★ (1) 区内の文化資源の認知度

16 スポーツ

- ★ (1) この1年間に行ったスポーツや運動の回数
- (2) この1年間のスポーツの観戦状況
- (3) この1年間に参加したスポーツを支える活動
- (4) 今後のスポーツ施設整備について

17 たばこマナー

- ★ (1) 居住地域におけるたばこマナーの満足度

18 せたがや Pay

- ★ (1) せたがや Pay の認知・利用度
- (2) せたがや Pay を利用しない理由

19 世田谷区公契約条例

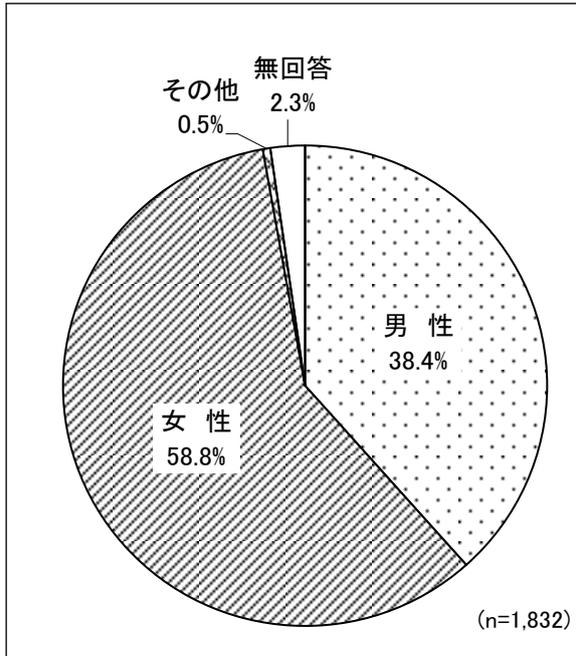
- ★ (1) 「世田谷区公契約条例」の認知度
- (2) 「世田谷区公契約条例」の認知経路

グラフの見方

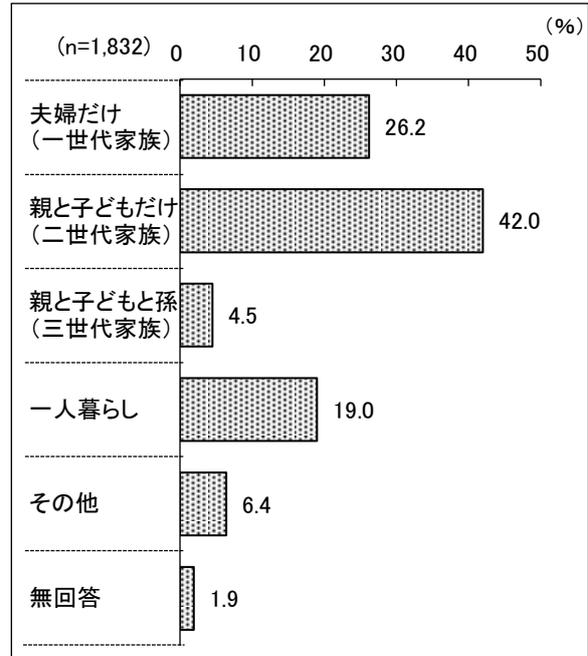
- 1 (複数回答) と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問です。
- 2 小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならないものがあります。
- 3 複数回答の設問については、合計が100.0%を超えることがあります。
- 4 グラフ中のnは、設問の回答者数を表します。

回答者の属性

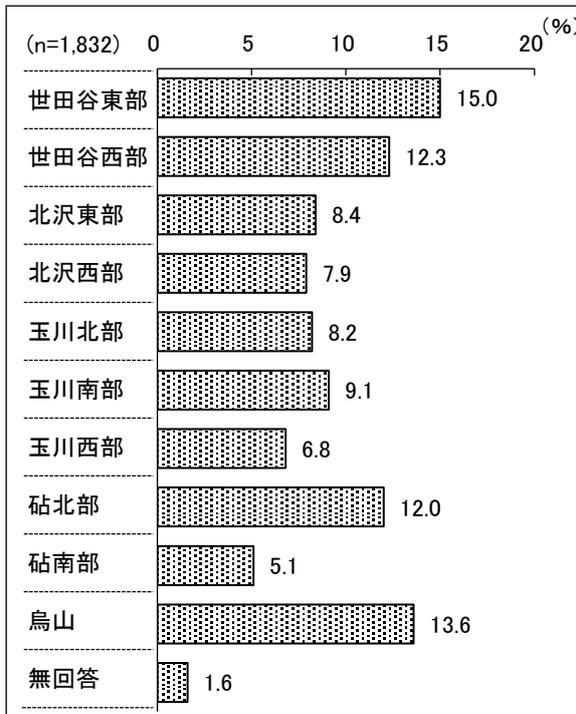
(1) 性別



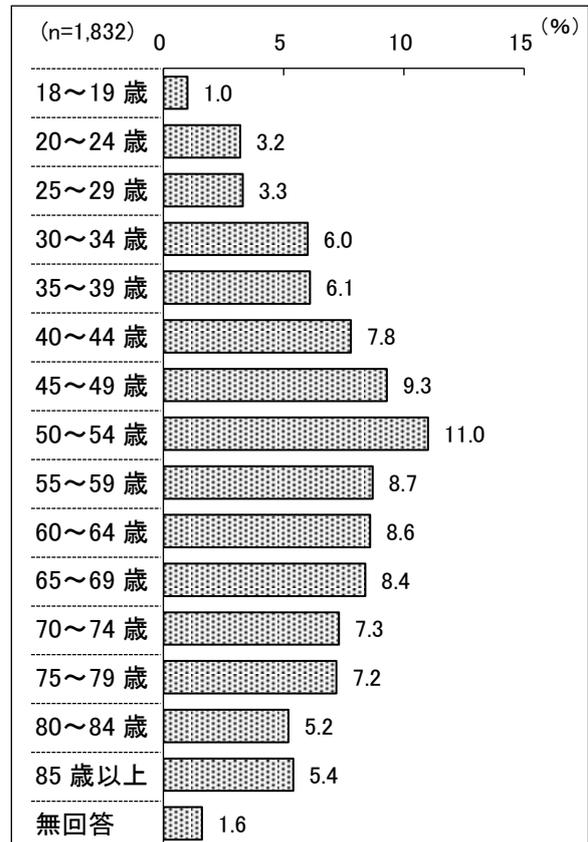
(2) 家族構成



(3) 居住地区

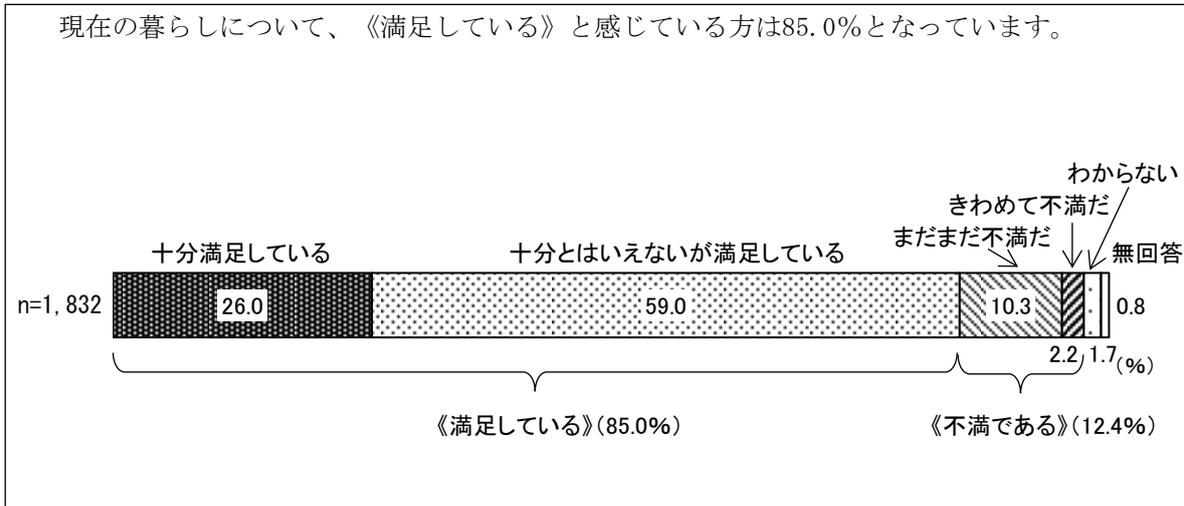


(4) 年齢

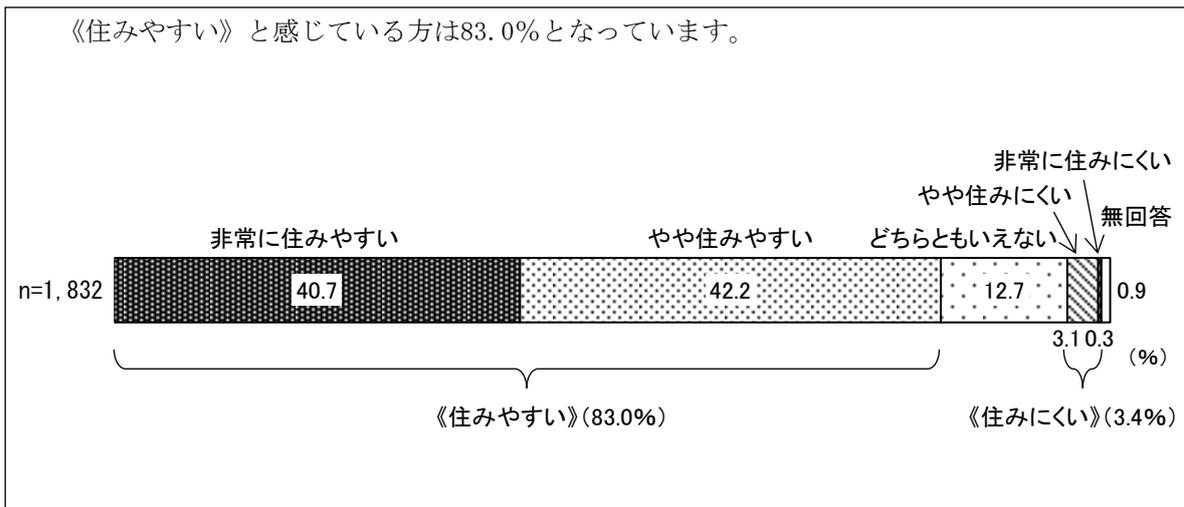


1. 定住性

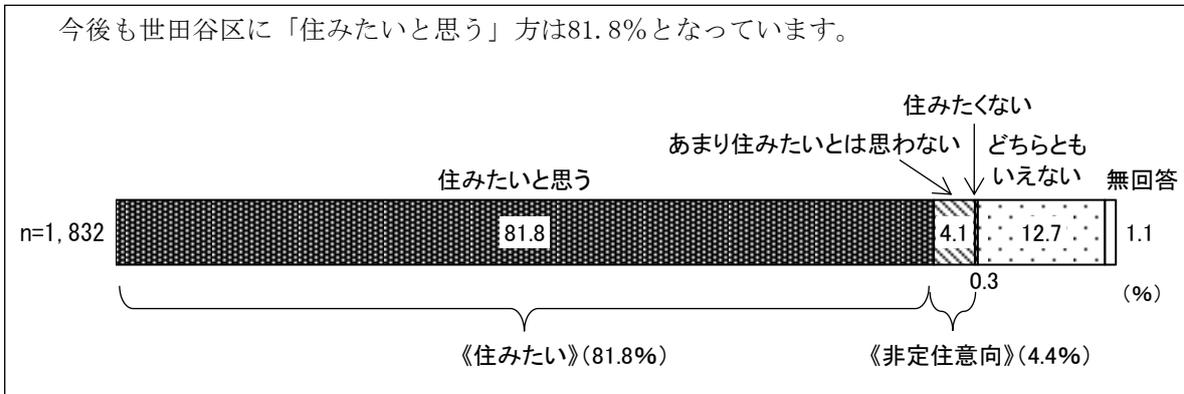
●暮らしの満足度



●住みやすさ

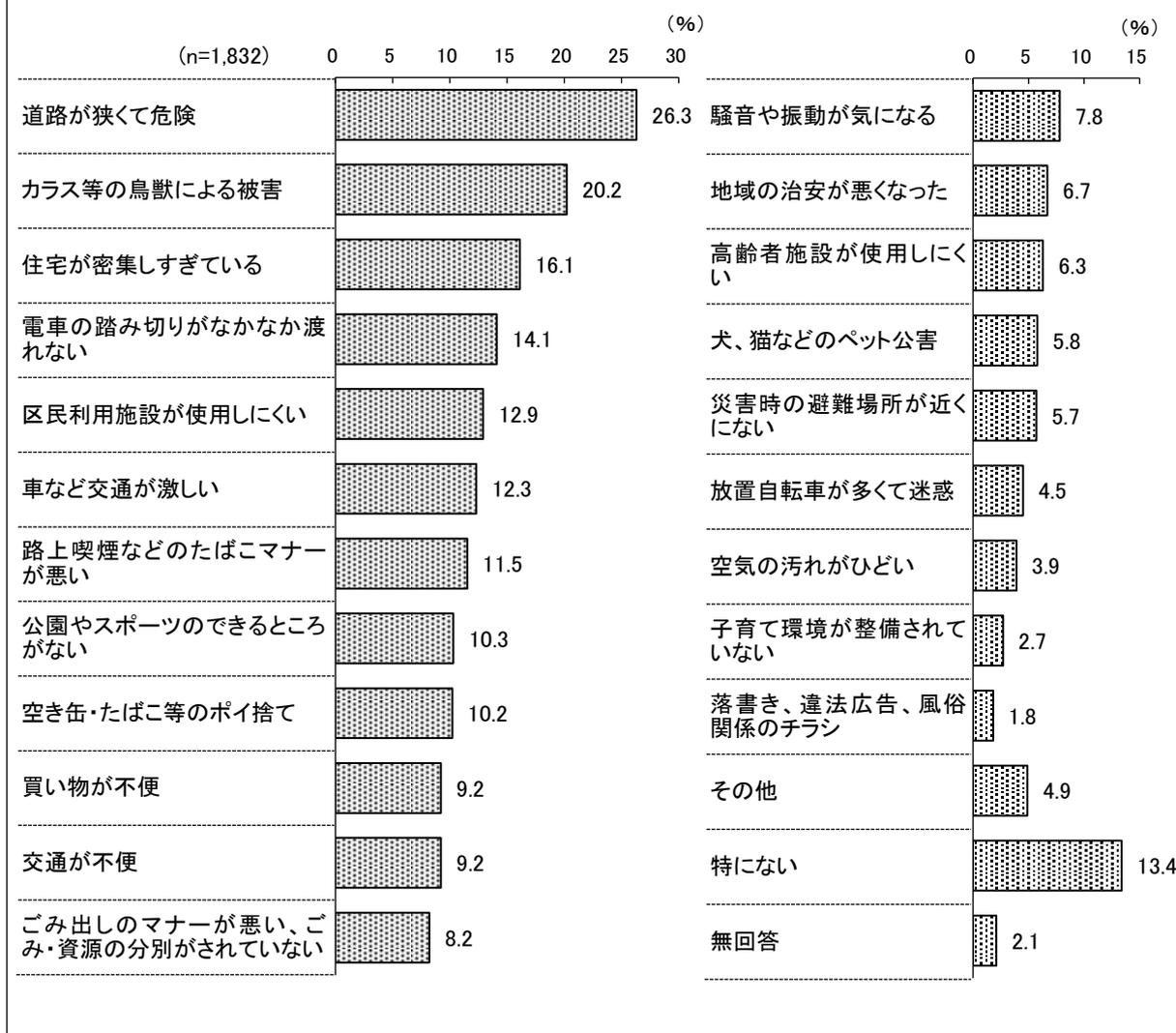


●定住意向



●地域における日常生活での困りごと（複数回答）

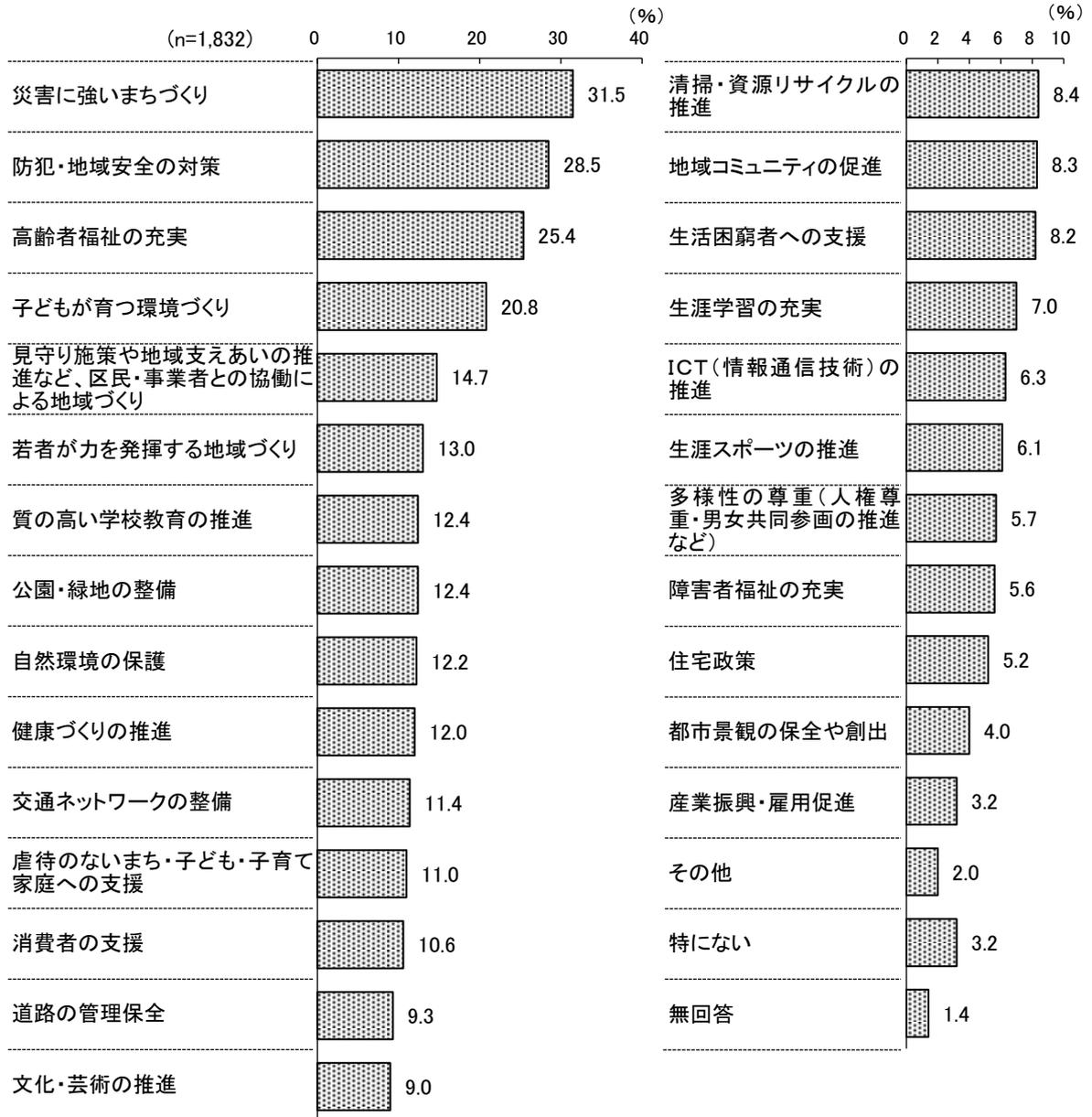
「道路が狭くて危険」が26.3%で最も高く、以下、「カラス等の鳥獣による被害」、「住宅が密集しすぎている」などと続いています。



2. 区政

●区が積極的に取り組むべき事業（複数回答）

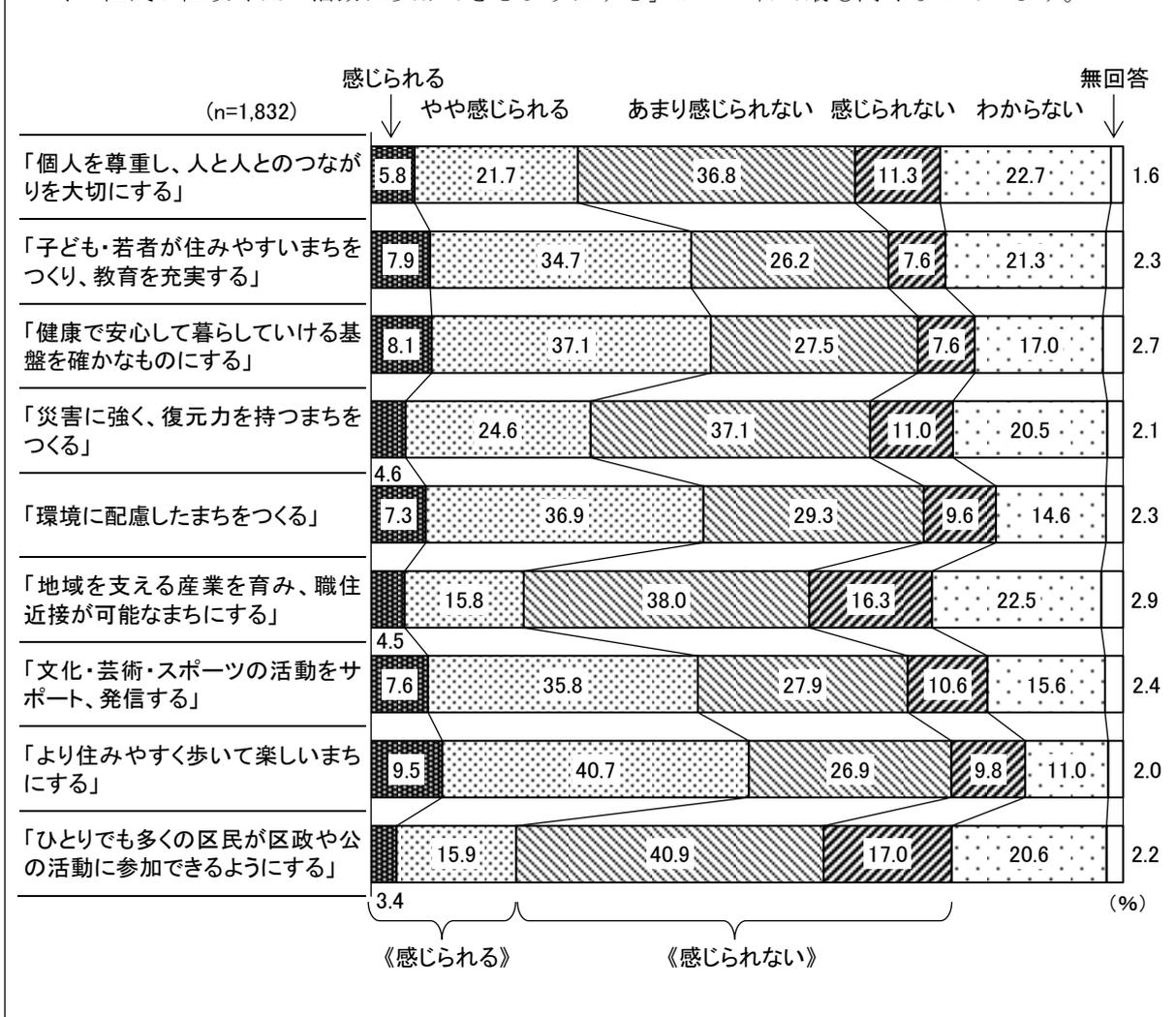
「災害に強いまちづくり」が31.5%で最も高く、以下、「防犯・地域安全の対策」、「高齢者福祉の充実」などと続いています。



3. 区の基本構想

● 「世田谷区基本構想」九つのビジョンの達成状況

「感じられる」と「やや感じられる」を合わせた《感じられる》は「より住みやすく歩いて楽しいまちにする」が50.2%で最も高く、以下、「健康で安心して暮らしていける基盤を確かなものにする」が45.2%、「環境に配慮したまちをつくる」が44.2%、などと続いています。一方、「あまり感じられない」と「感じられない」を合わせた《感じられない》は「ひとりでも多くの区民が区政や公の活動に参加できるようにする」が57.9%で最も高くなっています。

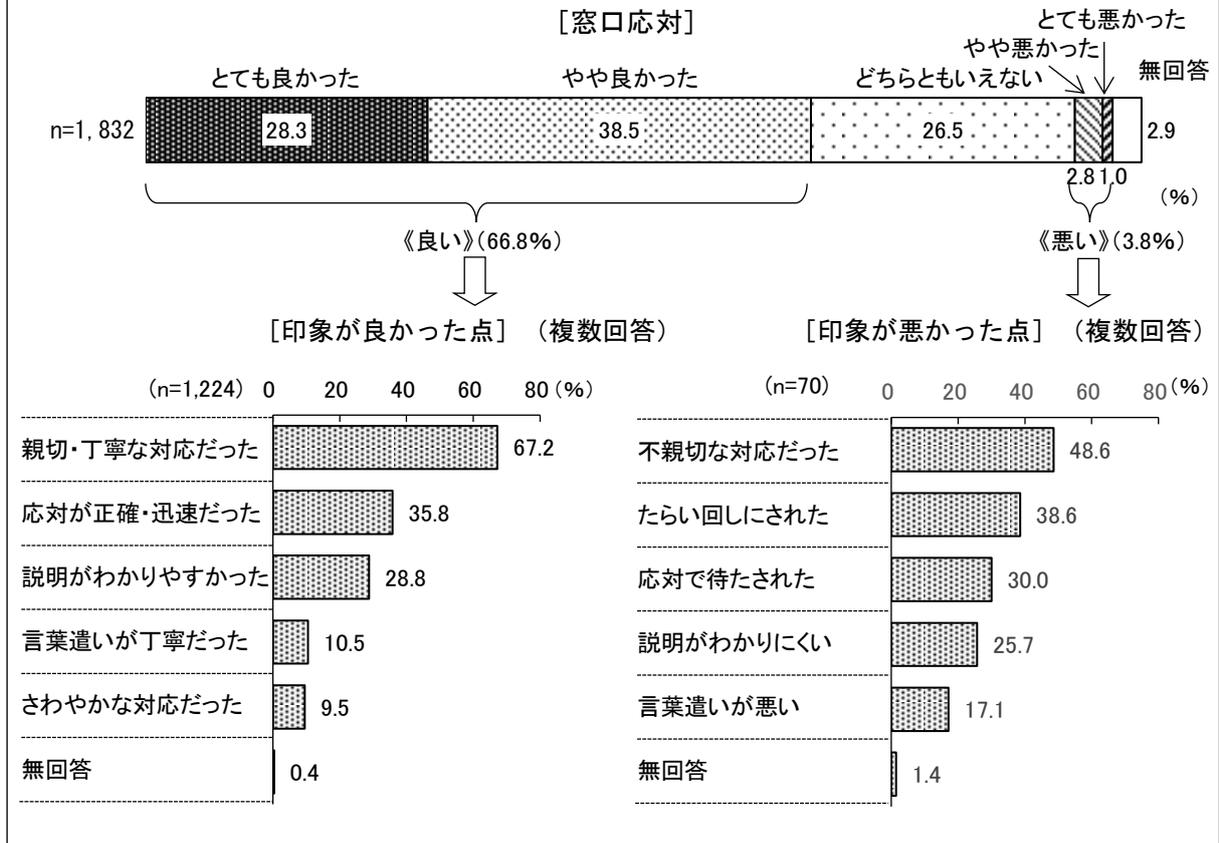


4. 職員応対

●窓口応対と印象が良かった点・悪かった点

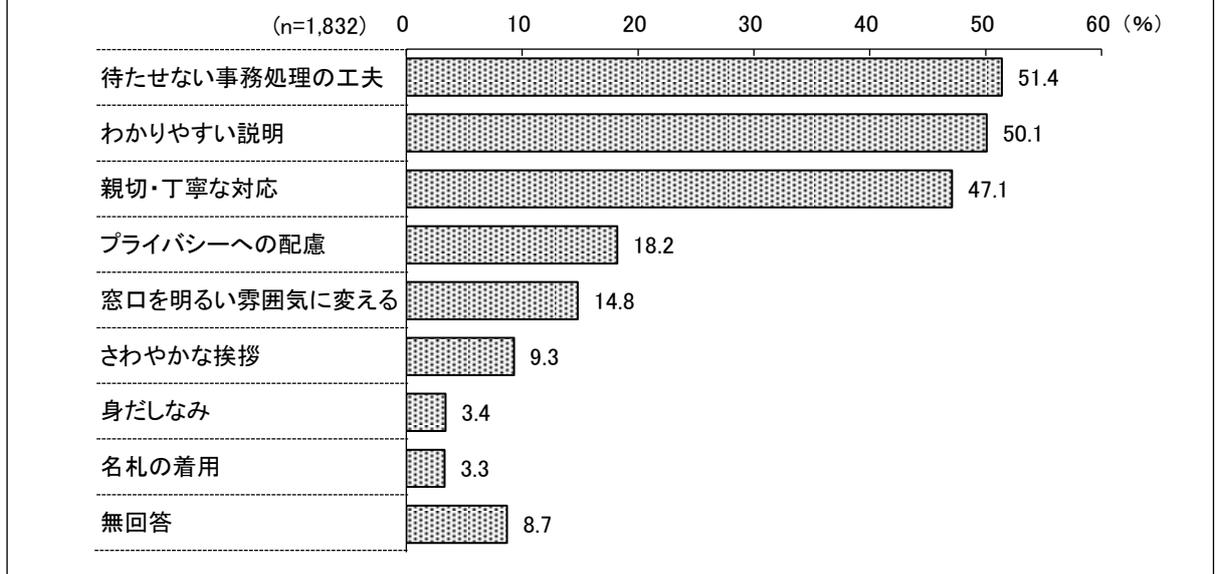
窓口応対は66.8%の方が《良い》と感じています。

親切・丁寧な応対だったかどうか、評価のポイントになっています。



●職員応対での注意点 (複数回答)

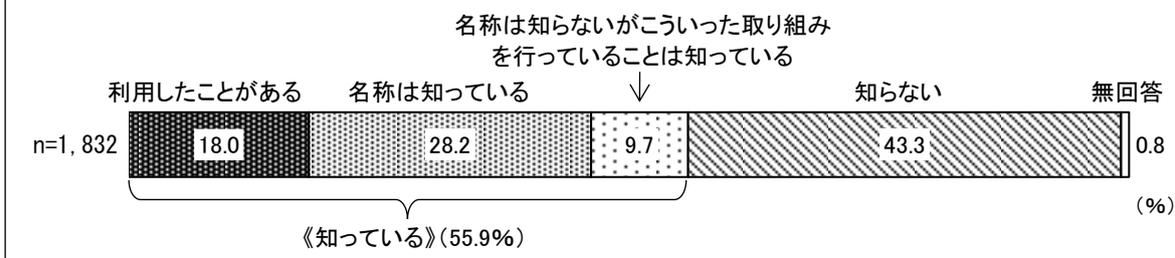
「待たせない事務処理の工夫」が51.4%と最も高く、以下、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」などと続いています。



5. 福祉と医療

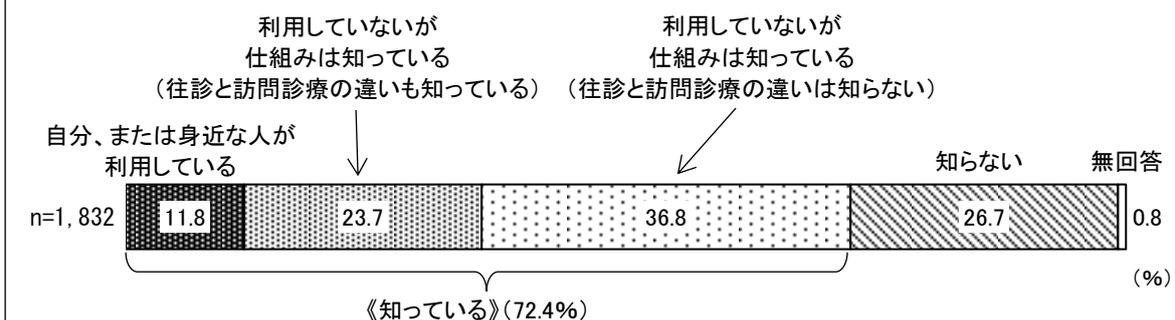
● 「福祉の相談窓口」の認知度

「福祉の相談窓口」の認知度を聞いたところ、「利用したことがある」(18.0%)、「名称は知っている」(28.2%)、「名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている」(9.7%)を合わせた《知っている》が55.9%、「知らない」が43.3%となっています。



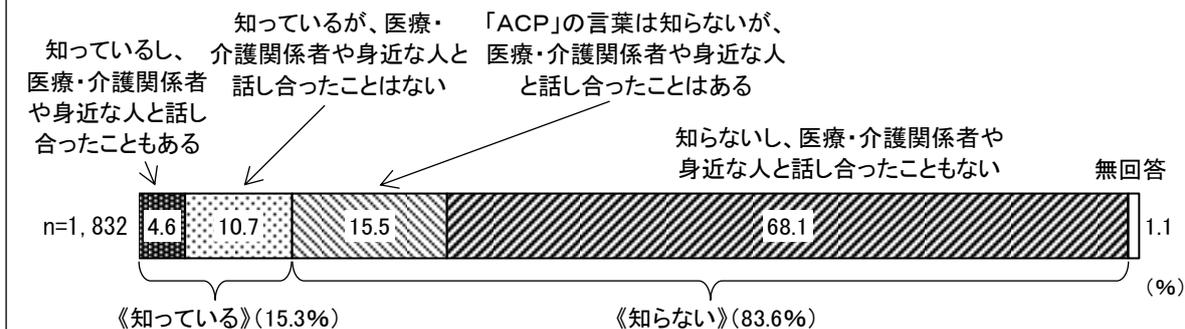
● 「在宅医療」の認知度

「在宅医療」の認知度を聞いたところ、「自分、または身近な人が利用している」(11.8%)、「利用していないが仕組みは知っている(往診と訪問診療の違いも知っている)」(23.7%)、「利用していないが仕組みは知っている(往診と訪問診療の違いは知らない)」(36.8%)を合わせた《知っている》が72.4%、「知らない」が26.7%となっています。



● 「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度

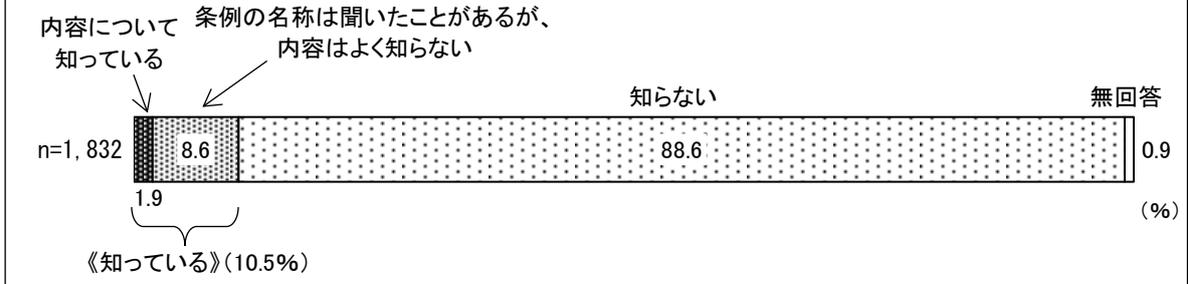
「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング：人生会議)の認知度を聞いたところ、「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」(4.6%)と「知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない」(10.7%)を合わせた《知っている》が15.3%、「「ACP」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはある」(15.5%)、「知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない」(68.1%)を合わせた《知らない》が83.6%となっています。



6. 認知症

●「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度

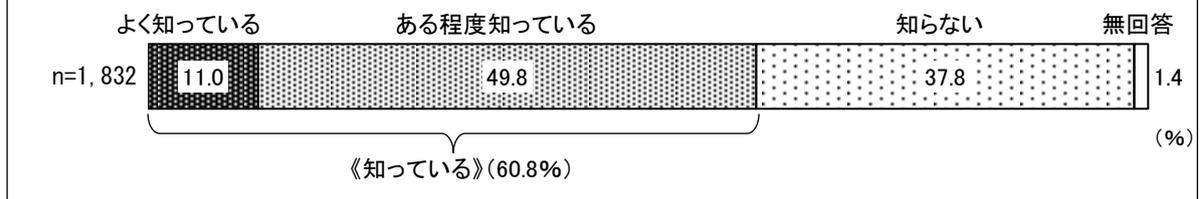
「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の認知度を聞いたところ、「内容について知っている」(1.9%)と「条例の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(8.6%)を合わせた《知っている》が10.5%、「知らない」が88.6%となっています。



7. 障害者を支える取り組み

●手話が独自の言語であることの認知度

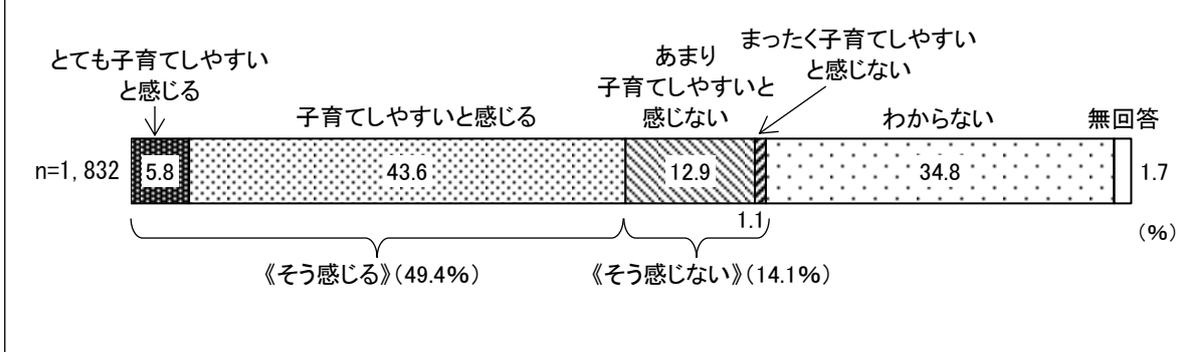
手話が独自の言語であることの認知度を聞いたところ、「よく知っている」(11.0%)と「ある程度知っている」(49.8%)を合わせた《知っている》が60.8%、「知らない」が37.8%となっています。



8. 子育て・子どもを取り巻く環境

●区の子育て環境

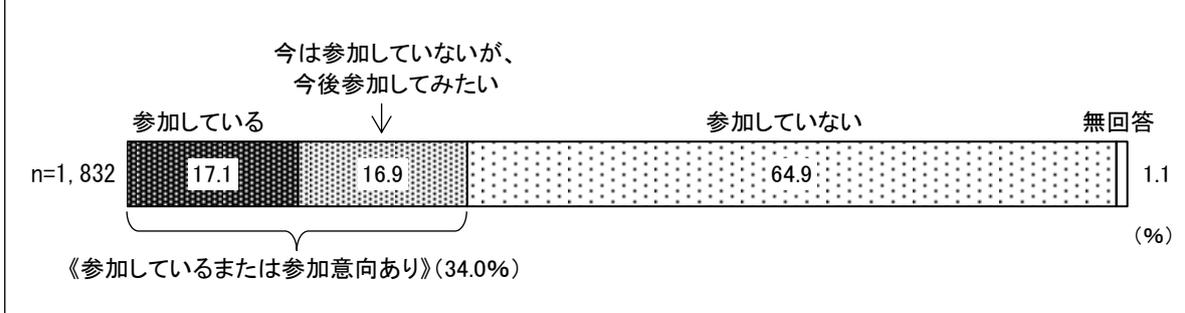
区の子育て環境について聞いたところ、「とても子育てしやすいと感じる」(5.8%)と「子育てしやすいと感じる」(43.6%)を合わせた《そう感じる》が49.4%、「あまり子育てしやすいと感じない」(12.9%)と「まったく子育てしやすいと感じない」(1.1%)を合わせた《そう感じない》が14.1%となっています。



9. 地域コミュニティ

●地域活動への参加経験・参加意向

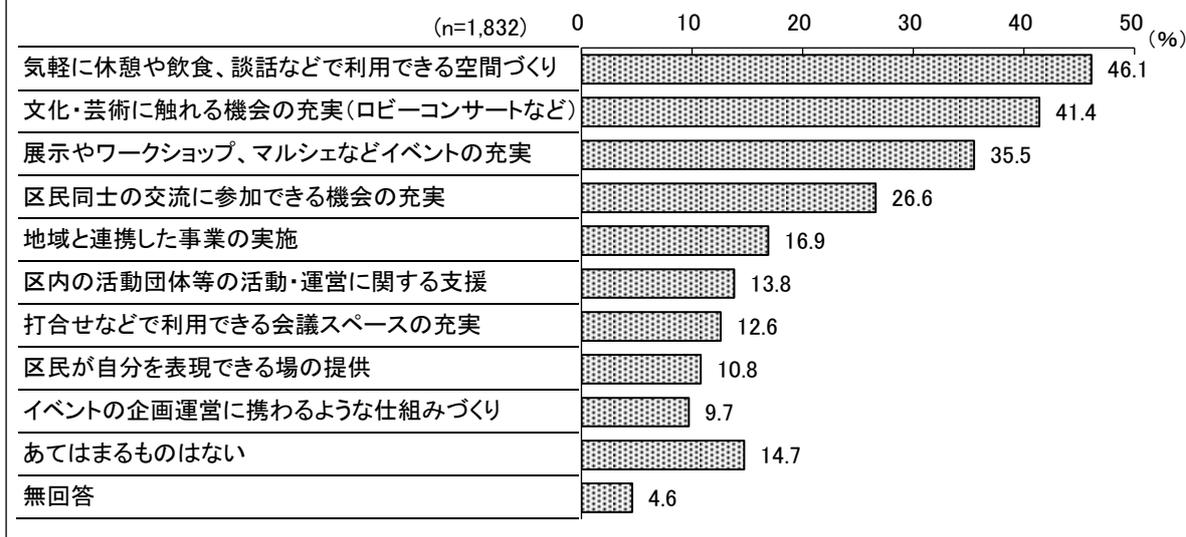
身近な地域の活動に参加しているかどうかを聞いたところ、「参加している」(17.1%)と「今は参加していないが、今後参加してみたい」(16.9%)を合わせた《参加しているまたは参加意向あり》が34.0%となっています。「参加していない」が64.9%となっています。



10. 区民交流スペース

●区民交流スペースに期待すること（複数回答）

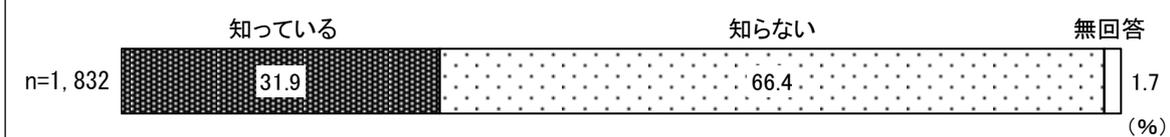
区民交流スペースに期待することを聞いたところ、「気軽に休憩や飲食、談話などで利用できる空間づくり」が46.1%で最も高く、以下、「文化・芸術に触れる機会の充実（ロビーコンサートなど）」、「展示やワークショップ、マルシェなどイベントの充実」、「区民同士の交流に参加できる機会の充実」などと続いています。



11. 災害時の備え

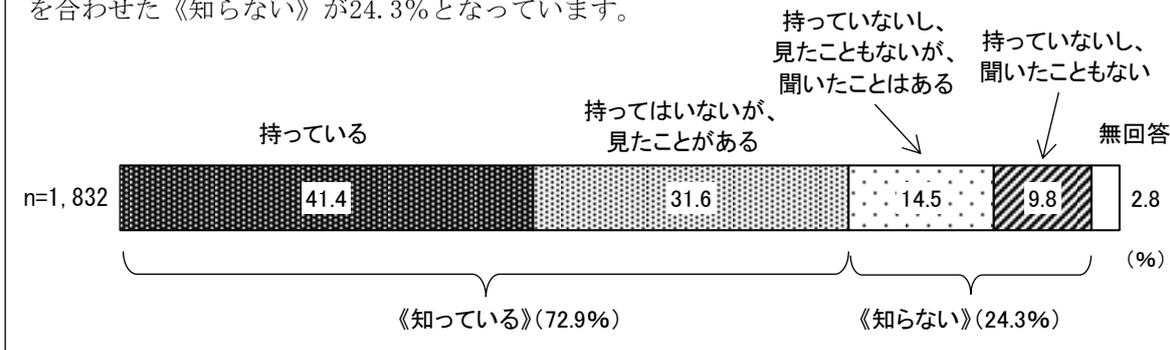
●在宅避難推奨の認知度

区が在宅避難を奨励していることの認知度を聞いたところ、「知っている」が31.9%、「知らない」が66.4%となっています。



●ハザードマップの認知度

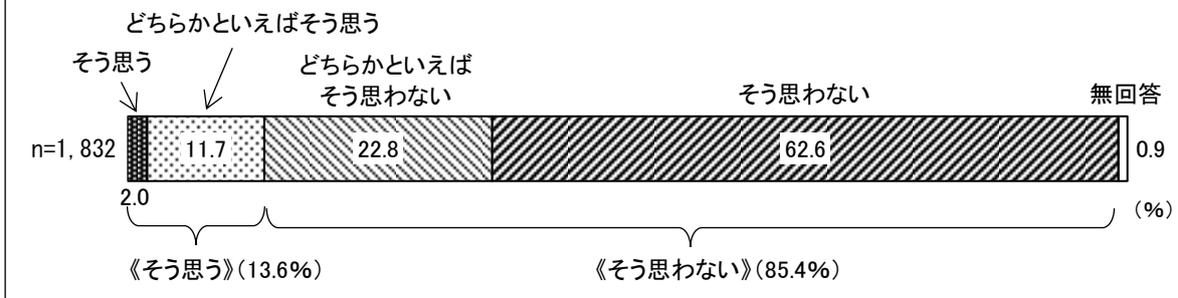
ハザードマップの認知度を聞いたところ、「持っている」(41.4%)と「持ってはいないが、見たことがある」(31.6%)を合わせた《知っている》が72.9%、「持っていないし、見たこともないが、聞いたことはある」(14.5%)と「持っていないし、聞いたこともない」(9.8%)を合わせた《知らない》が24.3%となっています。



12. 男女共同参画の推進

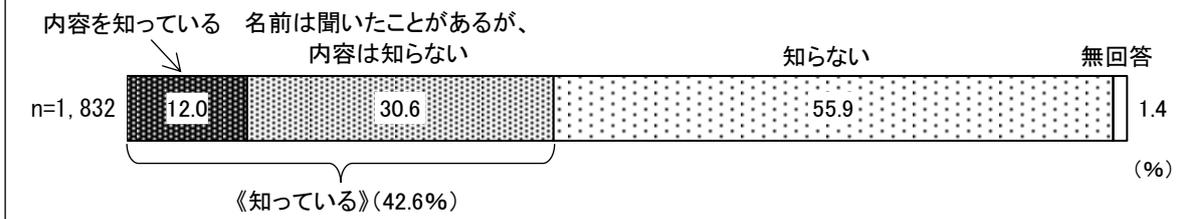
● 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

「男は仕事、女は家庭」という考え方について共感するか聞いたところ、《そう思う》が13.6%、《そう思わない》が85.4%となっています。



● 「世田谷区パートナーシップの宣誓の取組み」の認知度

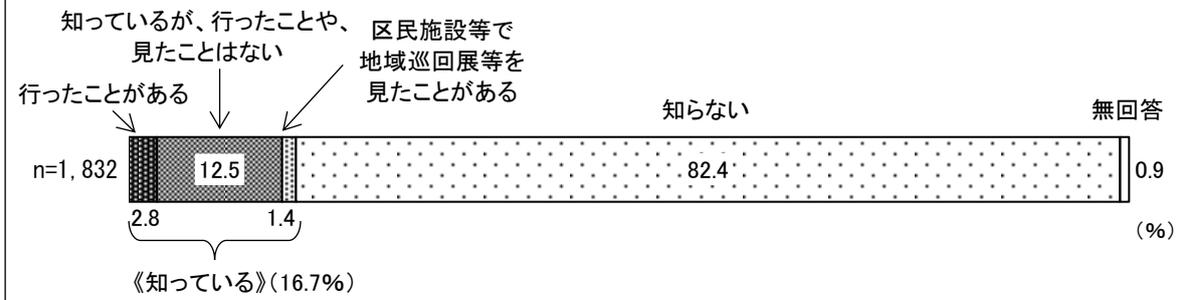
「世田谷区パートナーシップの宣誓の取組み」の認知度を聞いたところ、「知らない」が55.9%で最も高く、「内容を知っている」(12.0%)と「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」(30.6%)を合わせた《知っている》は42.6%となっています。



13. 平和資料館

● 区立平和資料館の認知度

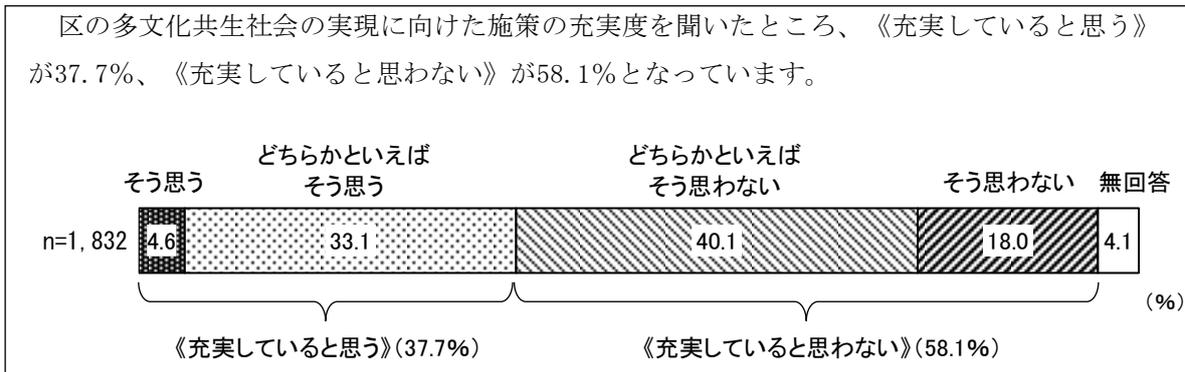
世田谷区立平和資料館の認知度を聞いたところ、「行ったことがある」(2.8%)、「知っているが、行ったことや、見たことはない」(12.5%)、「区民施設等で地域巡回展等を見たことがある」(1.4%)を合わせた《知っている》が16.7%、「知らない」が82.4%となっています。



14. 多文化共生

●区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度

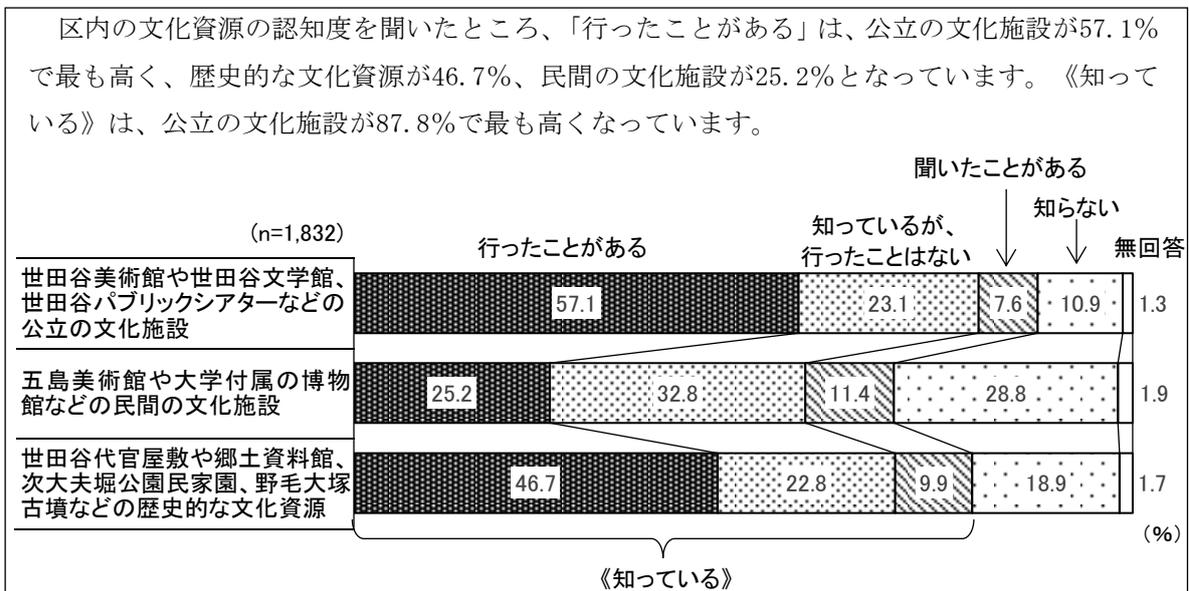
区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度を聞いたところ、《充実していると思う》が37.7%、《充実していると思わない》が58.1%となっています。



15. 文化活動

●区内の文化資源の認知度

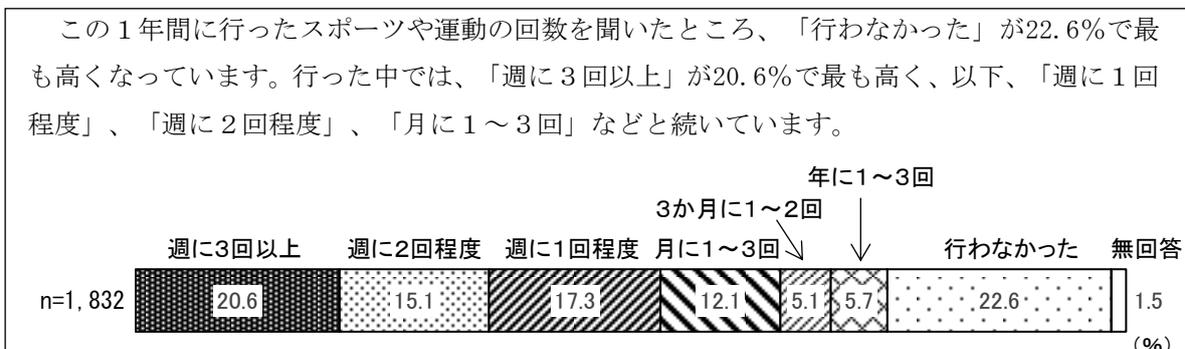
区内の文化資源の認知度を聞いたところ、「行ったことがある」は、公立の文化施設が57.1%で最も高く、歴史的な文化資源が46.7%、民間の文化施設が25.2%となっています。《知っている》は、公立の文化施設が87.8%で最も高くなっています。



16. スポーツ

●この1年間に行ったスポーツや運動の回数

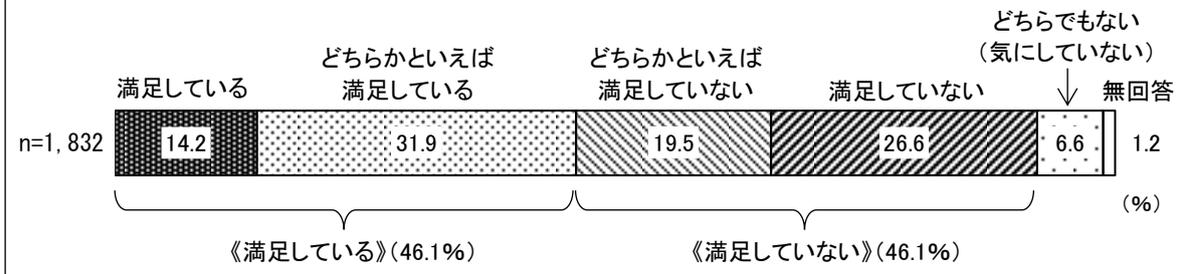
この1年間に行ったスポーツや運動の回数を聞いたところ、「行わなかった」が22.6%で最も高くなっています。行った中では、「週に3回以上」が20.6%で最も高く、以下、「週に1回程度」、「週に2回程度」、「月に1~3回」などと続いています。



17. たばこマナー

●居住地におけるたばこマナーの満足度

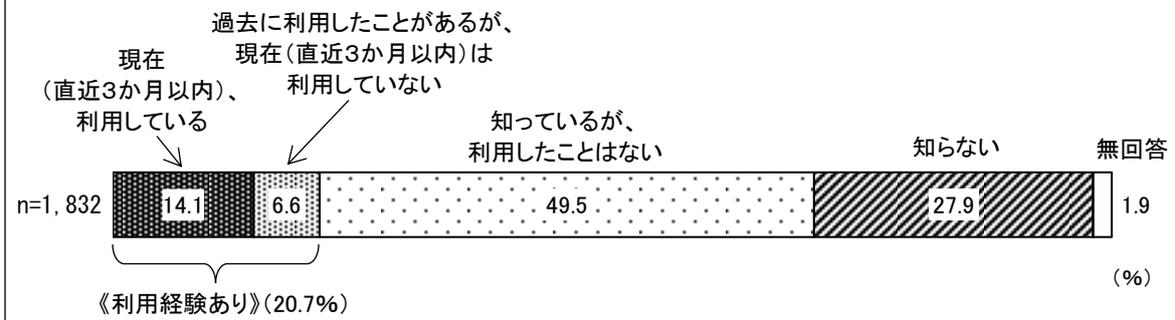
居住地におけるたばこマナーの満足度を聞いたところ、《満足している》、《満足していない》ともに46.1%となっています。



18. せたがや Pay

●せたがや Pay の認知・利用度

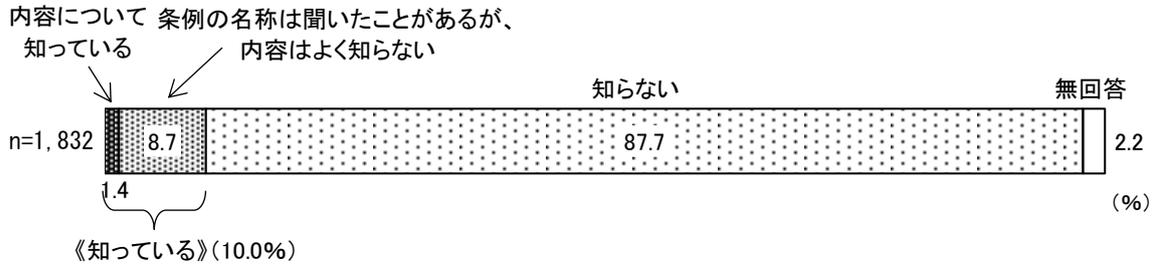
せたがやPayの認知・利用度を聞いたところ、「知っているが、利用したことはない」が49.5%で最も高くなっています。「現在(直近3か月以内)、利用している」(14.1%)と「過去に利用したことがあるが、現在(直近3か月以内)は利用していない」(6.6%)を合わせた《利用経験あり》は20.7%となっています。



19. 世田谷区公契約条例

● 「世田谷区公契約条例」の認知度

「世田谷区公契約条例」の認知度を聞いたところ、「知らない」が87.7%と多数を占めています。「内容について知っている」(1.4%)と「条例の名称は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」(8.7%)を合わせた《知っている》は10.0%となっています。



世田谷区民意調査2023（概要版）

令和5年9月発行（広報印刷物登録番号 No. 2178）

発行 世田谷区政策経営部広報広聴課

東京都世田谷区世田谷4丁目21番27号

電話：03（5432）2014

ファクシミリ：03（5432）3001

実施 株式会社アダムスコミュニケーション

東京都杉並区上高井戸1丁目8番17号 ブライトコアビル新館6階

電話：03（6847）5757

ファクシミリ：03（6847）5756